

ApresiaLightGM200 シリーズ

Ver. 2.02

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2024年06月13日	新規制定

はじめに

本リリースノートは、ApresiaLightGM200 シリーズのファームウェアについて説明するものです。ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

◆対象バージョン

本リリースノートの対象バージョンは Ver.2.02.00 です。

最新リリースバージョン	Ver.2.02.00
前回リリースバージョン	Ver.2.01.00

◆適応機種一覧

対象バージョンを使用可能な機種を以下に示します。それ以外の機器では、対象バージョンを適用しないでください。

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightGM200 シリーズ	ApresiaLightGM212GT-SS, ApresiaLightGM220GT-SS ApresiaLightGM228GT-SS, ApresiaLightGM212GT-PoE ApresiaLightGM220GT-PoE, ApresiaLightGM228GT-PoE

◆輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がありましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

◆商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLGM200 Ver.2.02.00 リリース情報(2024 年 6 月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

○ 機能サポート

サポート内容の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLGM200-20200-RC001

内容 BPDU ガード機能をサポートしました。

関連 -

APLGM200-20200-RC002

内容 ユーザーポートの LED を消灯する機能を実装しました。本機能で LED を消灯した場合でも、ループ検知機能などによる警告 LED は点灯します。

関連 -

APLGM200-20200-RC003

内容 Trusted Host のアクセス制限の対象を拡張し、HTTP での Web UI に対するアクセスを制限することができるようにしました。

関連 -

APLGM200-20200-RC004

内容 PoE 機能において、コマンドで取得できる情報を拡張しました。60W 給電ポートでの詳細な情報が取得できるようになりました。

関連 -

APLGM200-20200-RC005

内容 IGMP スヌーピング機能において、IP マルチキャストテーブルに未登録の IP マルチキャストグループのトラフィックを、指定したポートに転送しないオプションを追加しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC006

内容 MLD スヌーピング機能において、IPv6 マルチキャストテーブルに未登録の IPv6 マルチキャストグループのトラフィックを、指定したポートに転送しないオプションを追加しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC007

内容 ループ検知機能において、ループ検知用フレームにタグなしフレームを使用するオプションを追加しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC008

内容 ループ検知機能において、ループ検知時の発生時刻を表示するコマンドおよび発生時刻情報をクリアするコマンドを追加しました。

関連 -

○ 修正

APLGM200-20200-RC009

内容 ACL 機能において、ポートに適用される ACL のルールが多い場合に、当該設定で装置の再起動を実施すると起動まで時間がかかる、もしくは起動できない問題を修正しました。本事象は ACL 関連の設定自体に依存し、特定条件を満たす設定では必ず発生しますが、該当しない設定では発生しません。

MAC ACL 以外のいずれかの ACL 種別で、ポートに適用されていないものを除くすべての ACL プロファイル上で登録されているルールの総数が 128 の倍数+1 の場合（例えば 129、257）、本事象の条件に合致します。MAC ACL の場合、ルールの総数が 256 の倍数+1 の場合に条件に合致します。

本事象により起動までに要する時間は、該当する種別の ACL を適用しているポート数にも依存します。ポートが少ない場合、影響は小さくなります。

関連 -

APLGM200-20200-RC010

内容 PD モニタリング機能において、タイムレンジ機能により PoE 給電を再開したポートでは PD モニタリングの監視が行われない問題を修正しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC011

内容 VLAN タグつきフレームで、VLAN タグ内の VLAN ID 情報が 4095 のフレームを受信すると装置が異常状態になる問題を修正しました。通常のネットワーク環境では当該フレームが使用されることはありません。

関連 -

APLGM200-20200-RC012

内容 ループ検知機能において、処理対象外である他装置のループ検知フレームを受信した際でもソフトウェア制御を行ってしまい、管理通信などの処理に遅延が発生する問題を修正しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC013

内容 ブザーの停止コマンド、および停止するボタン操作において、一部の条件で完全には停止せず、警報を再開することがある問題を修正しました。
本事象は、例えばループ検知機能の notify-only オプションなど、異常を検知してもポートを Error Disabled 状態に移行しない設定の場合に、対象ポートのリンクダウンを契機に再度警報を行います。Error Disabled 状態に移行する設定のポートでは、リンクダウン自体が発生しないため、本事象は発生しません。

関連 -

APLGM200-20200-RC014

内容 STP 機能とループ検知機能を同一ポートで併用した場合に、STP 機能が正常に動作しない問題を修正しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC015

内容 ストームコントロール機能において、しきい値の基準を pps に、アクションを drop あるいは none に指定し、ユニキャストストームのしきい値を設定すると、すべてのユニキャストフレームのトラフィック量がしきい値を超過した場合に誤ってブザーや警告 LED の通知が行われる問題を修正しました。
本事象の条件に該当する設定を行うと、宛先不明ユニキャストのトラフィック量が指定したしきい値を超えた場合には超過分を廃棄しますが、ハードウェア上の制限によりブザーや警告 LED、ログ、SNMP トラップによる通知は行われません。

関連 -

APLGM200-20200-RC016

内容 MMRP-Plus Aware 機能において、MMRP-Plus のステータスが異常になると装置宛への通信が復旧しない問題を修正しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC017

内容 PD モニタリング機能において、ACL モードを使用すると PoE 給電を行っていない場合に PD ダウンのログが出続ける問題を修正しました。

関連 -

APLGM200-20200-RC018

内容 PoE 機能において、PoE 機能の SNMP トラップを無効にしても SNMP トラップの通知が行われてしまう問題を修正しました。

関連 -

ApresiaLightGM200 シリーズ Ver.2.02 リリースノート

Copyright(c) 2024 APRESIA Systems, Ltd.

2024 年 6 月 初版

APRESIA Systems 株式会社

東京都中央区築地二丁目 3 番地 4 号

メトロシティ築地新富町 8 階

<https://www.apresiasystems.co.jp/>